

越後与板打刃物匠会

東京・日本橋で開催

「鍛冶職人」刃物の世界展

来場者に展示・販売などで刃物産地を大々的PR

長岡市の越後与板打刃物匠会は2月20日から22日まで

「鍛冶職人」刃物の世界展を開催した。

同展では、鍛冶職人が丹精込めて製作した製品を展示と販売、会場奥の大型画像モニターでは、打刃物製造工程の紹介をした。特別イベントは当日持参した包丁を1本500円で研ぎ直し、無料で鋸の薄削り・かつお削りの体験が行なわれた。

同館で2回目の開催になる越後与板打刃物匠会の久任誠一会長は「長岡市など多く助けがあり、ここまで成し遂げることができた。若者の後継者問題も途中で頓挫したこともあるが、真剣に取り組んでいる。授業の一環として埼玉大学の学生も来場し、産学で共同しながら与板の刃物の活性化を図っている。与板は最

で、東京・中央区日本橋室町のだいしビル1階日本橋・ブリッジにいがたで、

近、全国ネットのテレビ放映などで取り上げられることへの取り引きもあるが、ほんのひと握りで一生の仕事としてやって行くにはまだまだ。今回の展示会のように都内の来場者にも気軽に足を運んでもらい、全国の刃物産地を大々的にPRしてほしいと思う」と、今回の成功も含め熱く抱負を語った。



① 来場者で賑わった「鍛冶職人」刃物の世界展の会場



近、全国ネットのテレビ放映などで取り上げられることへの取り引きもあるが、ほんのひと握りで一生の仕事としてやって行くにはまだまだ。今回の展示会のように都内の来場者にも気軽に足を運んでもらい、全国の刃物産地を大々的にPRしてほしいと思う」と、今回の成功も含め熱く抱負を語った。